

事務事業名	市民会館音響・照明管理運営委託事業				担当	教育委員会 文化課 管理係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号		
施策名	01	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成8 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	5市民会館費			
事業概要	市民会館は、芸術・文化の発信基地として、多くの市民に高い芸術・文化に接する機会を提供するため、また、利用者に、専門知識を要する舞台音響・照明設備を円滑に使用していただき、高度な舞台演出効果を実現し、設備の性能を維持するため、職員では対応不可能な場合に、設備の操作に熟練した技術者を有する専門事業者へ設備の管理運営（仕込、リハーサル、本番、管理、機器の点検等）の業務を委託している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 複数の専門事業者から委託業務内容別に見積りを徴取し、もっとも金額が低い事業者と一人一日当りの単価契約を締結した。なお、委託にあたっては、設備の点検や催し物の内容等により、職員では対応不可能な場合に委託した。委託回数80回（月例点検、臨時点検業務を含む） 23年度計画 3月11日の地震により市民会館が破損し使用出来ないが、機材の保全管理（点検、清掃）及び文化協会主催等の催し物を代替会場で実施する場合に委託を予定している。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
ア 委託回数	回	98	95	84	80	20		
イ 委託人数	人	234	239	235	246	82		
ウ 委託金額	千円	6,185	6,152	6,143	6,187	2,570		
エ								
オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民会館利用者（主催者、出演者）の設備利用回数	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
ア 設備利用回数(大ホール)	回	213	208	204	224	-		
イ								
ウ								
エ								
オ								
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 舞台音響・照明設備を円滑に運用し、誤操作による破損、危険を防止する。利用者が満足できる舞台演出効果を実現する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
ア 舞台演出効果に満足した利用者の割合	%	100	100	100	100	100		
イ								
ウ								
エ								
オ								
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 舞台音響・照明設備を有効に活用して芸術文化の振興を促進する。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
ア 舞台音響・照明が円滑に運用できた割合	%	100	100	100	100	100		
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	6,185	6,152	6,143	6,147
			事業費計(A)	千円	6,185	6,152	6,143	6,147
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	500	500	500	0
			人件費計(B)	千円	2,095	2,089	2,028	2,134
			トータルコスト(A)+(B)	千円	8,280	8,241	8,171	8,281

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市民会館の開館当初は、事務職員が研修を受けて音響・照明機器の操作を行っていた。人事異動の際には操作方法を引き継いでいたが、長期間技術レベルを維持することは難しく、職員では対応できない催し物が出てきたため、年間数回、専門業者への業務委託により対応するようになった。その後、機器の更新により、さらに高度な知識、技術が必要となり、利用者もより高度な舞台演出効果を望むようになったため、平成8年度から、安全管理、機器の点検を含め、音響・照明管理運営の業務委託を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	近年、舞台音響、照明における技術の進歩は著しく、音響機器、照明機器もコンピューター制御となっている。市民会館では、音響、照明設備が老朽化したため、平成5年度から11年度にかけて改修工事を行い、音響設備にはデジタルミキサー、照明設備にはコンピューター制御の調光卓を導入した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民会館活動の充実は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芸術文化の振興のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 舞台音響・照明設備を円滑に運用し、安全確保と舞台演出効果を高めるものであり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 設備の保守点検により機器の性能が保たれている。また、舞台音響・照明設備は有効に活用されており、利用者等からの苦情も寄せられていない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 利用者が満足できる演出効果を提供できなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 高度な舞台演出効果を要する催し物に対して、利用者の期待に十分こたえられなくなるため、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託契約、委託料の支払い、催し物予定の連絡調整等の事務及び、舞台使用中は必ず職員1名の配置が必要であり、必要最小限の事務であるので、これ以上の人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全ての利用者に、芸術文化の振興を図るために実施しているものであり、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							